

令和3年度 島田市コミュニティバスの運行について

市コミュニティバス路線については、利用者が伸び悩む中、運行経費の増加が続いており、財政負担を減らすため、ワゴン型車両への変更や、年度途中から一部路線の週末運休を実施しています。さらに、新型コロナウイルス感染症による影響も追い打ちをかけ、大変厳しい状況にあります。

このまま現行路線を維持することは近い将来不可能となるため、全体的な見直しが必要であり、持続可能な公共交通網を策定するべく作業に着手しています。

新たな公共交通網による運行は、各事業者や関係機関との調整に時間が掛かることが予想されることから、令和4年度以降の順次導入を予定しています。

令和3年度の運行については、次年度以降の見直しに繋げるため、現行路線を踏襲しつつ、一部路線での土日祝休日ダイヤの導入及び利用者が少ない便とその折返し便を中心に減便を実施し、効率的な運行を図ります。

1 島田地区変更概要

(1) 土日祝休日ダイヤの導入

伊久身線、相賀線、川根温泉線、湯日線、大津線、田代の郷温泉線

(2) 運行本数の減（1日あたり1～2往復）

伊久身線、相賀線、湯日線、大津線、田代の郷温泉線

(3) 始発・最終便の区間短縮

田代の郷温泉線（島田駅～伊太団地とする）

2 金谷地区変更概要

(1) 土日祝休日ダイヤの導入

夢づくり会館線、金谷循環線、菊川神谷城線、大代線

3 川根地区変更概要

(1) バス停名称の変更（川根温泉線・笹間渡笹間線）

高木医院前 → ウェルシア前

(2) 笹間渡笹間線及びスクール混乗路線の新高木医院（デイサービスセンター前バス停）への延伸

(3) 土日祝休日ダイヤの導入（川根温泉線）